

# 100億宣言

# チタン工業株式会社（製造業）

夢 素 材 カ ン パ ニ ー  
チタン工業株式会社  
Titan Kogyo, Ltd.



本社事務所

- 本社所在地：山口県宇部市大字小串1978番地の25
- 事業概要：酸化チタン及び酸化鉄並びにこれに付随する化学工業品の販売・製造
- 常時使用する従業員：308名  
(グループ全体、2025年3月時点)
- 現在の売上高：81億円  
(グループ全体、2025年3月期)
- 法人番号：3250001003412
- Web：http://www.titankogyo.co.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長執行役員  
井上 保雄

### 【企業理念】顧客本位、効率経営、社会貢献

顧客を第一に考えて事業活動を進め高い信頼を得られるよう努力しています。また、最高品質の製品を適正価格で提供し、品質と利潤のバランスを取りながら**効率よい経営**を心がけています。そして、事業活動を通じて**社会への貢献**を進めることで、社会から必要とされる存在となるよう努力していきます。

当社グループの成長を支える一番の要は、ここで働く人（従業員）と考えています。従業員が仕事に価値を見出して誇りを持って働けるよう、職場環境の整備や待遇の改善を進めます。会社の成長持続とともに従業員の成長を促進し、意欲あふれる明るく強いチタン工業グループを創り上げてまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

創立100周年の2036年に売上高150億円を目標としています。そのためにもまず2030年にグループ売上高100億円達成を目指します。



### 課題

- 現状の延長だけでは目標達成は困難、新しいステージ構築が重要
- 市場開発：既存製品技術を新市場（新用途、海外）に展開
  - 製品開発：新製品の継続的な開発を実現する研究開発力の強化
  - 品質規制対応：各種認証の維持や法規制への適切な対応
  - 安定生産：近隣企業の事業撤退で崩れるサプライチェーン再構築
  - 人材確保と人の成長：魅力ある職場づくり、待遇改善、従業員育成
  - 収益性向上と財務体質改善：稼働率向上、在庫減、有利子負債減

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- 強みを生かして事業領域を拡大（新用途、海外）  
6つのコア技術※を生かして顧客と摺り合わせるきめ細かい対応  
※粒子形状制御、微粒子化、複合化、表面処理、分散、不純物低減  
自社販売と商社連携で築いた国内及び海外の販売網活用  
化学品・化粧品関連の各種認証取得維持、法規制への対応
- 生産体制強化維持のための設備投資の実行
- 賃上げや人材育成など人への投資に注力し、人材と組織を強化
- コスト削減と事業ポートフォリオ最適化による収益性の向上

### 実施体制

- 販売体制  
海外（東南アジア、中国、韓国、欧米）の化粧品展示会にも積極出展  
販売部に化粧品専門チームを設置
- 研究開発体制  
化粧品専門商社と商品開発にかかる共同技術ミーティング実施  
先進性あるノンナノ品、高純度品、特徴ある粒子形状品の開発
- 品質保証体制  
ISO、GMP、ハラル認証、RSPOサプライチェーン認証等の維持  
欧米における化学品・化粧品の規制へ重点的に対応

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## グループ売上高100億円、150億円実現ための方向性、グループ体制

### ■グループ体制

当社グループは、当社及び子会社2社（株式会社TBM、TKサービス株式会社）により構成されております。当社は、酸化チタン関連事業及び酸化鉄関連事業並びにその他事業を行っております。子会社である株式会社TBM（当社51%出資）は酸化チタン関連事業を行っており、TKサービス株式会社（当社100%出資）はその他事業を行っております。

### ■目標達成のための戦略

創立100周年（2036年）を迎える年のありたい姿をイメージし、そこと現状の延長線上とのギャップを分析、長期目標達成に向けた道筋をデザインしました。その上で、直近の3力年で成すべきことを盛り込んだ第7次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）を策定し、1年1年を積み重ねて信頼と自信を回復、会社の再生、発展、進化に努めることとしました。

第7次中期経営計画の基本方針は、①化粧品向け製品の拡販と収益性の向上、②リスク耐性の強化、③持続可能な社会への貢献です。コロナ禍で世界的に縮小した化粧品市場の中で独自の地位を確保しシェアを獲得することを目指すとともに、コスト削減による収益性の向上、成長戦略の実現と経営資源の効率化、リスク耐性の強化への取り組みを継続する。併せて、社会とともに繁栄する持続可能な社会の実現を追求することで、低迷する業績の早期回復と当社グループの企業価値の向上を目指しています。

